

# 新たな「公共圏」モデルの構築

研究代表者 渡 邊 登

## 1. 分担者

芳 井 研 一  
松 本 彰  
佐 藤 康 行  
中 村 潔  
松 井 克 浩  
古 賀 豊  
杉 原 名穂子  
中 村 隆  
北 村 順 生

## 2. 2006年度の研究活動の概要、及び 3. 2006年度の研究成果の概要

本研究プロジェクトは、高度情報化、メディアテクノロジーのグローバルな拡大という条件のもとで、現実の地域社会におけるコミュニケーションが多層的・複合的な「公共圏」形成に結びつくという事態の解明を目指している。

本年度も昨年度に引き続いて研究メンバー各が個々の専門領域から具体的なフィールドへのアプローチによる調査研究を行った。

例えば、ローカルメディアが公共圏構築に果たす役割への解明に向けて、スハルト退陣後のプレス自由化の進展のなかで発刊され始めた地方紙についての調査の継続的調査研究（インドネシア共和国、バリ州、デンパサール市）や、韓国の地域社会（全羅北道扶安郡）における地域づくりの事例研究（放射性廃棄物処理場建設反対運動を契機とした地域文化創造の事例）、また中越震災後の地域社会復興の諸条件を探る調査研究、Webコミュニティにおける秩序形成の構築についての調査研究等を挙げる事が出来る。

以上の調査研究に関係して、李起豪氏（韓国聖公会大学大学院教授）を発表者として「日韓の市民運動ネットワークについて」と題して研究会を2007年3月23日に開催して、意見交換を行った。

また、今年度はプロジェクトの一環として古賀，中村（隆），北村が地域社会における大学と地元メディアのコラボレーションについての実践的教育プロジェクトを教育推進経費に基づいて進めており，「実践教育と大学広報，及び地域メディアとの連動」をテーマとして公開研究会「大学と地域，メディア」を水島久光氏（東海大学文学部広報メディア学科助教授）を招いて開催した（2006年12月27日）。

### 3. 2006年度の研究成果の一覧

- ・ Nakamura, Takashi et al., 2006, "Social Order in Web Communities, Proceedings of The Third", International Conference on Knowledge Management (ICKM2006)
- ・ 中村隆志, 2006 「Webコミュニティにおける相互行為儀礼と階層性」『ネットワーク生態学』（2006シンポジウム予稿集）
- ・ 松井克浩 2006 「被災生活における食の問題 —— 中越地震「被災生活アンケート」から」（新潟大学地域連携フードサイエンス・センター編『これからの非常食・災害食に求められるもの』光琳, pp.83-101
- ・ 渡辺登, 2006 「地方からみた『社会運動論』：新潟県（旧）巻町における2つの住民投票への対応の差異を通じて」『社会学評論』57(2), pp. 348-368